

長崎高教組新聞

発行
〒850-0013 長崎市川中2丁目2番5号
長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合
☎ (095)-827-5882
FAX (095)-826-2976
編集責任者 平井秀治
一部 10円

高教組メールアドレス
info@nagasaki-kokyoso.org

人事院は、定年延長について65歳まで段階的に引き上げる原案を出しました。疑問の多い、退職金に関する情勢は以下の通りです。

定年延長でどうなる？退職金

いま不透明 来年4月までに法案化？ 要求活動ますます重要に

9月30日に人事院が交渉では、現在、退職時出した「意見の申出」での給料月額を基準として、退職金についての考いる計算方法について、え方は示されていませ

在職中の最高給料月額を基準にすることが議論がなされていますが、「意見書員の人事費削減の圧力が強まっている中で、この要求に結集してと



署名の重み

2万595筆

ゆきとどいた教育がいま必要と説明する堀江ひとみ県議

「署名を重く受け止めて、しつかり努力してもらいたいゆきとどいた教育請願は不採択

県議会 文教厚生委員長 促す

「長崎の豊かな高校教育条件の充実を促す審議結果をめぐり、長崎の私学助成をすすめる会(事務局・私教連)が県議会に提出した、「教育費負担の公私間の格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求めるための請願」についての審議が、12月8日、県議会の文教厚生委員会で行われ、必要と認められ、反対意見は一人もなく、教育

「趣旨は理解できる」趣旨に反対する人はだれもいない」と述べましたが、必要と認められ、(改善できる所は)「現実に困難な」と発言するなどの審議の内容としては、「採択するにハードルが高い」と発言しました。

結局、賛成は堀江議員のみで請願は不採択。

「特別支援教育推進基本計画」とは、特別支援教育について「12年度から、概ね10年間の基本計画」で、「国や県の動向を踏まえ、必要に応じて、計画の見直しを行い、つじ、実施計画を立て施策の展開を図る」というもの。

書記局から

■中央での会議参加はいかが？

年明けから中央での学習や機関会議があります。参加などの希望がありましたら、書記局まで連絡してください。

- ① 1月14、15日 生活権利討論集会
- ② 1月28、29日 高教教育シンポ
- ③ 2月4、5日 全国青年教職員学習交流会
- ④ 2月18、19日 全教大会
- ⑤ 3月10、11日 日高教大会



■長崎高教組中央委員会への参加態勢を職場の協力で!

第213回中央委員会を下記のように開きます。多忙な中ですが、代理も含めて全分会からの出席を追求してください。

- 1月28日(土) 10時30分～16時
- 諫早市・高城会館 (諫早高校隣り)

■書記局の休み

高教組書記局は年末年始の休業などに合わせ12月29日(木)～1月4日(水)まで休みます。ご了解ください。緊急の場合は、本部執行役員まで連絡してください。

障害児学校の統廃合 1次計画ではない

障教部 県交渉

障教部(石橋聡子部長)は、8月26日の「鶴南特別支援学校校時津分教室」に、1月28日に行いました。

これは、8月26日の「鶴南特別支援学校校時津分教室」に、1月28日に行いました。

障教部(石橋聡子部長)は、8月26日の「鶴南特別支援学校校時津分教室」に、1月28日に行いました。

第59次真教研 山口・九州各県とともに開き78人参加

「教研で得たものを実践したい」

未組合員2人が加わり 元気づく

第59次長崎高教組・長し、今次教研の成功にむけ、今次教研の成功にむけて尽力しました。参加者延べ数は78人(長崎県高教組関係50人)、交流会は52人でした。特別講演は2人、3県高校教育研究会・3県高校教育研究会と抱き合わせ、領域別分科会(「平和・人権」、「生活指導・自治的活動」、「登校拒否・不登校・中退問題」、「参加と共同の学校づくり」)で開会。



▲記念講演を聴く参加者



▲講演する大矢さん

▲第3分科会「生活指導・自治的活動」

長崎支部は12月10日、学習会「がつてんセミナー」を開催しました。その中心は講演で、全教生権局長の蟹沢昭三さんが「どうなる教職員の賃金・定年制、労働基本権をテーマに講師を務めました(写真はその様子)」。一定年制延長は年金を65歳から支給すると

公務員採用ゼロの重大な問題

長崎支部 定年制延長や労基権回復問題で学習会

長崎支部は12月10日、学習会「がつてんセミナー」を開催しました。その中心は講演で、全教生権局長の蟹沢昭三さんが「どうなる教職員の賃金・定年制、労働基本権をテーマに講師を務めました(写真はその様子)」。一定年制延長は年金を65歳から支給すると



高教組「確定交渉に向けてのアンケート」自由記述欄から。

「人事」に関する意見 (2)

シリーズ4

高教組「確定交渉に向けてのアンケート」自由記述欄から。
▼この学校も生徒が多
▼自分自身の立場から考
えると、再任用などは
なく、新規教員の採用数
を増やしてほしいと思
います。生徒数減や学校
数の減少に伴い、難しい
面もあるとは思いますが、
1人の教員ができる仕事
の量以上の業務が割り当
てられています。 (対馬支部・30代・男)

権が付与され、組合、分
会の団体交渉などがい
つそう重要になってくる
ため、その準備に向けて
各分科会は動き出さな
ければならないというこ
とも改めて気づかされま
した。
講演は、たいへんわか
りやすく、30人の参加
者に大変好評でした。
長崎支部ではビデオ撮
りもしていますので、他
支部・分会での学習会な
どにも使えるのではない
かと思えます。その節は
ようこそ 今日こそ 高教組

▼子どもと教育を考えるついで▼

- 2月12日(日)午後1時～
○長崎市
○テーマ:教科書を考える(仮)
*高教組は実行委員会の1団体です。
どなたでも参加可能。日程の中に入れて
おいてください。